



平成24年7月23日

総合政策局海外プロジェクト推進課
水管理・国土保全局下水道部下水道企画課

日本－マレーシア下水道分野におけるワークショップ

ならびに政府間協議の結果概要について

1. 趣旨

国土交通省ならびにマレーシア国エネルギー・環境技術・水省は、7月19日(木)にマレーシア国プトラジャヤにおいて「日本－マレーシア下水道分野における政府間協議」および、それに併せて「日本－マレーシア下水道ワークショップ」を開催しました。

その結果、マレーシア側より、専門家派遣についてはマレーシア側の課題を考慮して協力分野を詳細に議論してきたいこと、覚書の締結に向けた準備の進展に期待すること、ならびに今後も長期的な協力関係を推進したい旨をご回答いただきました。

【問い合わせ先】

国土交通省総合政策局海外プロジェクト推進課

課長補佐 西 (内線 25-803)

係長 吉井 (内線 25-819)

直通 03-5253-8315

FAX 03-5253-1562

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課

課長補佐 斎野 (内線 34-132)

係長 赤間 (内線 34-135)

直通 03-5253-8427

FAX 03-5253-1596

2. 日時：平成24年7月19日(木)

9:00～12:30【ワークショップ】

14:00～16:00【政府間協議】

3. 場所：プトラジャヤ国際会議場 ホール8【ワークショップ】
(マレーシア国プトラジャヤ市)
エネルギー・環境技術・水省6F会議室【政府間協議】
(マレーシア国プトラジャヤ市)

4. 主催：国土交通省、マレーシア国エネルギー・環境技術・水省（共催）

5. 主な出席者：

【ワークショップ】

参加者：約100名

[日本側]

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部長 岡久 宏史
下水道部 下水道企画課
下水道事業調整官 加藤 裕之

東京都 下水道局長 小川 健一

下水道局 企画担当部長 熊谷 透

東京都下水道サービス株式会社 社長 前田 正博

技術部長 片岡 正造

JICA マレーシア事務所、在マレーシア日本大使館、住友商事（株）、JFE エンジニアリング（株）、積水化学工業（株）、清水建設（株）ほか

[マレーシア側]

エネルギー・環境技術・水省 次官 ルー・トゥック・ジー

副次官 ノライニ

下水道事業局長 モハマド・アヒール

国家水サービス委員会（SPAN）CEO テオ・イエン・ファ

インダ・ウォーター社 計画・技術部長 モハマド・ハニファ

天然資源環境省環境局、MMC Corporation、Salcon Engineering ほか

【政府間協議】

参加者：約50名

[日本側]

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部長 岡久 宏史

下水道部 下水道企画課

下水道事業調整官 加藤 裕之

東京都 下水道局長 小川 健一

東京都下水道サービス株式会社 社長 前田 正博

在マレーシア日本大使館、JICA マレーシア事務所 ほか

[マレーシア側]

エネルギー・環境技術・水省 下水道事業局長 モハマド・アヒール

国家水サービス委員会（SPAN）CEO テオ・イエン・ファ

インダ・ウォーター社 計画・技術部長 モハマド・ハニファ ほか

6. ワークショップ概要

<冒頭挨拶>

- ・冒頭、国土交通省 岡久下水道部長、東京都 小川下水道局長、エネルギー・環境技術・水省 ルー次官より挨拶があった。

<セッションにおける発表>

- ・日本の下水道行政について
(国土交通省 加藤下水道事業調整官)
- ・マレーシアにおける水事業とその方向性
(エネルギー・環境技術・水省 ノライニ副次官)
- ・下水道事業の運営と財政における東京都のノウハウ
(東京都下水道局 熊谷企画担当部長)
- ・マレーシアの下水道計画
(エネルギー・環境技術・水省 アヒール下水道事業局長)
- ・水環境保全に貢献するTGSの技術
(東京都下水道サービス株式会社 片岡技術部長)
- ・インダ・ウォーター社の下水道事業における取り組み
(インダ・ウォーター社 ハニファ計画・技術局長)



岡久下水道部長による挨拶 東京都小川局長による挨拶 ルー次官による挨拶



記念撮影



ワークショップの様子

7. 政府間協議概要

- ・冒頭、マレーシア・エネルギー・環境技術・水省 アヒール下水道事業局長より、政府間協議の場を持つことができたことに謝意が表明され、時宜にかなった内容のワークショップであったと発言があった。また、今回の政府間協議が、両国の協力を促進し、水事業の実績を向上させるための良い議論の場となることを希望する旨発言があった。
- ・岡久下水道部長より、現在のマレーシアでは下水処理場の集約化や再編が課題と
きいている。今後も国交省として、東京都とも協力しながら、日本の技術や経験・
ノウハウを活かし課題解決に貢献することを希望する旨発言した。
- ・加藤下水道事業調整官より、今後の協力の方向性や専門家派遣など具体的な協力の
方法について発言があった。
- ・アヒール下水道事業局長より、日本からの専門家派遣については、今回の日本の
提案を歓迎する意が表された。
- ・マレーシア・インダ・ウォーター社 ハニファ局長より、日本との協力関係を、
政策、アセット、ファイナンスの3つの分野で強化していきたいと、詳細に議論し
ていくことを希望する意が示された。
- ・東京都 小川下水道局長より、大規模な下水道事業運営、市街地に比較的短期間
に下水道整備を行ったことから生じた課題の解決などで得たノウハウが、同じ課
題を持つ国に役立つこと、過去にマレーシアに派遣している専門家などの人的な
ネットワークも活用した協力を行いたい旨述べた。また再生水利用について、東
京都でも過去の水不足の経験から実施を進めていること、再生水の具体的な用途
などを紹介した。
- ・東京都下水道サービス 前田社長より、水道料金の制度によって再生水利用の普
及にむけた取組を補足し、東京都や東京都下水道サービスのこのような経験から
も有効な助言ができることを説明。
- ・アキール下水道事業局長より、覚書の締結に向けた準備の進展に期待が表明され
るとともに、今回の協議で終わりとすることなく、今回のワークショップや協議
も経て形成された人的ネットワークも活用し、長期的な協力関係を推進したい旨、
発言があった。



協議の様子



協議の様子



記念撮影